# 2019年度 授業シラバスの詳細内容

| ○基本情報 | | | |
|---|---|---|---|
| 科目名(英) | 映像構成・演出学及び演習２（Image Expression and Exercises２ ） | | |
| ナンバリングコード | P21404 | 大分類 / 難易度<br>科目分野 | 情報メディア学科 専門科目 / 標準レベル<br>映像デザイン |
| 単位数 | 3 | 配当学年 / 開講期 | 3 / 前期 |
| 必修・選択区分 | コース選択必修：情報コミュコース<br>選択：情報工学コース、メディアデザインコース、こども・情報教育コース | | |
| 授業コード | P180701 | クラス名 | |
| 担当教員名 | 小島　康史 | | |
| 履修上の注意、履修条件 | 「映像企画・取材学」、「映像機器学及び演習」、「映像構成・演出学及び演習１」の単位を修得していることを履修条件とします。<br>　娯楽作品ではなく主にドキュメンタリー作品を中心に、テレビ、ビデオ、DVD、映画などの身近な映像メディアや映像作品を視聴し、それぞれの作品に設定されている「テーマ」と「作家性」を考えながら見る習慣を付けてください。また、視聴を通して印象に残った構成やカメラアングルなどをメモしておきましょう。また、長い時間をかけて作品を制作します。ことにグループで制作する作品が中心なので欠席 をしてグループのメンバーに迷惑をかけることのないようにしてください。 | | |
| 教科書 | 教科書は使用しませんが、必要な資料は適宜配布します。 | | |
| 参考文献及び指定図書 | 情報映像学入門　佐々木成明著　オーム社<br>よくわかる映像コンテンツ制作入門　映像情報メディア学会編　オーム社<br>映像制作入門　鈴木誠一郎、喜多千草著　ナカニシヤ出版 | | |
| 関連科目 | 情報メディア入門、映像企画・取材学、映像機器学及び演習、映像構成・演出学及び演習１、取材実践・編集学及び演習、情報デザイン総合演習 | | |

| ○成績評価の指標 | | ○成績評価基準（合計100点） | | |
|---|---|---|---|---|
| 到達目標の観点 | 到達目標 | テスト（期末試験・中間確認等） | 提出物（レポート・作品等） | 無形成果（発表・その他） |
| 【関心・意欲・態度】 | ・制作にあたって、何が必要かを考えることができる。 | | | 10点 |
| 【知識・理解】 | ・明確な企画意図を持つことができる。<br>・企画意図にしたがって、効果的な構成を考えることができる。 | | 30点 | |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | ・映像で訴えるための適切な表現を決定することができる。<br>・チームで円滑な制作を実践できる。 | | 30点 | |
| 【思考・判断・創造】 | ・企画意図を実現できる（想定した対象に、伝えるべき情報を伝えることができる）。 | | | 30点 |

**○到達目標に対する到達度の目安、および、成績評価の補足**

[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。
[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。
[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。
[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

| ○授業の目的・概要等 | | |
|---|---|---|
| 授業の目的 | 　ビデオカメラやデジタルカメラ、スマートフォンの高機能化によって、だれでも手軽に動画制作ができるようになり、多くの人々が動画制作を楽しんでいます。しかし、ネット上に公開されている完成作品を見るかぎり作品の質にはバラツキが多く、残念ながらほとんどの作品は自己満足に終わっています。<br>　コンテンツ・クリエイターを目指す学生諸君が制作する映像は、それらの作品群とは異なり、あくまでもコミュ ニケーションツールです。つまり、「観客に被写体について感じさせる」という作用が求められています。<br>　本学の映像制作教育プログラムが諸君に求めているものは、映画やドキュメンタリーの核となる『人間を見つめる眼差し』を養成することです。どんな映像作品においても、基本的には人が主役であり、その人物をどのように描いていくか、映像制作者側の作家性が問われていきます。したがって、まず先入観を排除した多角的な調査（生い立ちや周辺からの人物像）からの情報を元に、テーマを選び出し、象徴的なエピソードを盛り込んだドラマを紡ぎださなければなりません。さらに諸君が制作する映像作品は、表現に芸術的なセンスが求められ、被写体に対する深い眼差しを持ち合わせなくてはなりません。 | |
| 授業の概要 | 　この科目では、通常の映像作品同様、ゼロからスタートして作品を完成させます。主題は大学周辺で取材が出来る人物を探し出し、取材の了承を取り付けます。対象人物（被写体）の優れている点や面白い点を主眼にした人間を研究するドキュメンタリー作品を制作することを目的とする。映像を写真に置き換えて、本人及び周辺取材を重ねたインタビュー音声素材を元に、15分程度の作品を制作する。まずは、企画探しを全員で行い、プレゼンテーションを行います。そこでのディスカッションを元に再調査を進め、優れた企画を通すことでグループが形成されます。教員は学生と常にディスカッションをし、作品を細部にわたって検討します。実際の制作を行うのは、学生のみなさんです。時には皆の力を借りながら、自らの頭で考えアイデアを出し、計画を立て、粘り強く制作してくだ さい。<br>　ここまで学んできた映像制作に関する知識やスキルをフルに使って作品の完成を目指します。完 | |
| 授業の運営方法 | （1）授業の形式 | 「演習等形式」 |
| | （2）複数担当の場合の方式 | |
| | （3）アクティブ・ラーニング | 「フィールドワーク」 |
| 地域志向科目 | 該当しない | |

**○備考欄**

期末試験・レポート等の学修成果課題のフィードバック方法は、教員のコメントを添えて返却します。

| | |
|---|---|
| **実務経験のある教員による授業科目** | 小島康史<br>本授業の学習対象である映像制作の分野（プロモーション、記録、ドキュメンタリー、映画、テレビ、CM等）において、ディレクター、プロデューサー業務を30年間従事している。 |

# 2019年度 授業シラバスの詳細内容

**○授業計画**　科 目 名 ： 映像構成・演出学及び演習２（Image Expression and Exercise　授業コード：P180701
担当教員： 小島　康史

**学修内容**

**1. ガイダンスおよび企画探し**
2週目以降の実践的な授業の進め方を説明する。
実習の企画探しを行い、他のメンバーに対して企画の優位性についてまとめる。

**予習：** 参考文献を読んでおく　（約4.0h）
**復習：** 企画の立案　（約4.0h）

**2. 映像制作実践**
映像作品の実習を行います。
企画案についてのディスカッション。企画の絞込み。追加調査項目の洗い出し。アポ取りなど取材交渉を開始する。質問事項の洗い出し。作品内容に関して教員とのミーティングを随時行います。

**予習：** 取材対象者について調べる　（約4.0h）
**復習：** アポ取りを行い、制作スケジュールを立案する　（約4.0h）

**3. 映像制作実践**
映像作品の実習を行います。
撮影準備。取材開始。インタビュー。撮影の許可取り。
作品内容に関して教員とのミーティングを随時行います。

**予習：** 取材対象に関連する事項の調査　（約4.0h）
**復習：** 撮影機材の確認と事前チェックを行う　（約4.0h）

**4. 映像制作実践**
映像作品の実習を行います。
インタビューの文字起こし。被写体の魅力を考察。企画の決定。班編成。
作品内容に関して教員とのミーティングを随時行います。

**予習：** インタビュー項目の精査と回答予測を立てる　（約4.0h）
**復習：** インタビューの文字起こし　（約4.0h）

**5. 映像制作実践**
映像作品の実習を行います。
対象についての年表作り。スタッフ編成。撮影・録音機材のチェック。撮影項目の洗い出し。
作品内容に関して教員とのミーティングを随時行います。

**予習：** インタビューの文字起こしから発見や魅力を導く　（約4.0h）
**復習：** 取材対象者の年表作り　（約4.0h）

**6. 映像制作実践**
映像作品の実習を行います。
撮影。インタビューの文字起こし作業。撮影内容からの発見。構成項目の選定。
作品内容に関して教員とのミーティングを随時行います。

**予習：** 追加質問を用意する　（約4.0h）
**復習：** インタビューの文字起こし　（約4.0h）

**7. 映像制作実践**
映像作品の実習を行います。
撮影。インタビューの文字起こし作業。撮影内容からの発見。構成項目の選定。追加撮影項目の洗い出し。資料収集。撮影データの取り込み。作品内容に関して教員とのミーティングを随時行います。

**予習：** インタビューの文字起こしから発見や魅力を導く　（約4.0h）
**復習：** 撮影対象者の魅力や発見について考える　（約4.0h）

**8. 映像制作実践**
映像作品の実習を行います。
撮影。テーマについてのディスカッション。編集準備。撮影データの取り込み。文字起こし作業。写真・資料撮影。
作品内容に関して教員とのミーティングを随時行います。

**予習：** 作品テーマについて考える　（約4.0h）
**復習：** 構成要素を考える　（約4.0h）

**○授業計画**　科 目 名 ： 映像構成・演出学及び演習２（Image Expression and Exercise　授業コード：P180701
担当教員： 小島　康史

**学修内容**

**9. 映像制作実践**
映像作品の実習を行います。
テーマの最終確認。構成案づくり。荒編集作業。撮影項目の最終確認作業。
作品内容に関して教員とのミーティングを随時行います。

**予習：** 構成案を考える　（約4.0h）
**復習：** 構成要素の不足について手立てを考える　（約4.0h）

**10. 映像制作実践**
映像作品の実習を行います。
追加撮影。荒編集作業。文字起こし作業。
作品内容に関して教員とのミーティングを随時行います。

**予習：** 撮影準備　（約4.0h）
**復習：** インタビューの文字起こし　（約4.0h）

**11. 映像制作実践**
映像作品の実習を行います。
追加映像入れ込み編集作業。 構成案作り。テロップ原稿タタキ台作り。ナレーション原稿タタキ台作り。
作品内容に関して教員とのミーティングを随時行います。

**予習：** 映像データを編集作業に変換させる　（約4.0h）
**復習：** ナレーション原稿を完成させる　（約4.0h）

**12. 映像制作実践**
映像作品の実習を行います。
最終構成案の完成。編集作業。テロップ原稿作り。ナレーション原稿作り。
作品内容に関して教員とのミーティングを随時行います。

**予習：** オフライン編集を行う　（約4.0h）
**復習：** オフライン編集を行う　（約4.0h）

**13. 映像制作実践**
映像作品の実習を行います。
編集作業。テロップ入れ作業。ナレーション録り作業。
作品内容に関して教員とのミーティングを随時行います。

**予習：** 効果音や音楽の演出を考える　（約4.0h）
**復習：** ナレーションを編集する　（約4.0h）

**14. 映像制作実践**
映像作品の実習を行います。
最終編集作業。カラコレ作業。スタッフタイトル入れ作業。ナレーション入れ作業。
作品内容に関して教員とのミーティングを随時行います。

**予習：** 音楽や効果音を集める　（約4.0h）
**復習：** 写真やインサート映像を収集　（約4.0h）

**15. 映像制作実践**
映像作品の実習を行います。
音楽付け作業。追加テロップ入れ作業。ミキシング作業。
作品内容に関して教員とのミーティングを随時行います。

**予習：** 作品試写を行なう　（約4.0h）
**復習：** オンライン編集　（約4.0h）

**16. 作品講評**
完成した各チームの映像作品発表。
作品を講評しあい、映像表現上の構成や演出に関するポイントなどの理解を深めます。

**予習：** オンライン編集
**復習：** 講評や自分なりの考察をレポートにまとめる